

フィンランド語準上級講座①

「分詞に関する概要」

関連する他の動画
「フィンランド語文法：上級①」

資料掲載サイト
「フィンランド語との対話」 [<https://yoshidakingo.com/>]

フィンランド語準上級中級①：「分詞に関する概要」解説

①過去分詞は過去形の否定や完了形で用いられる。

●否定動詞 + 過去分詞 = 過去の否定形

●動詞 olla + 過去分詞 = 完了形

En **sanonut** mitään. 私は何も言わなかった。

Olen **käynyt** Suomessa. 私はフィンランドを訪れたことがある。

Laskua ei **maksettu** ajoissa. 勘定は期限までに支払われなかった。

Suomea on **puhuttu** Ruotsissa aina.

スウェーデンではつねにフィンランドが話されてきた。

②分詞とは形容詞の働きをする動詞の形 ⇒ 名詞を修飾する

Helsingistä **lähtenyt** lentokone Helsinki から出発した飛行機

Ruotsissa **puhuttu** suomi スウェーデンで話されるフィンランド語

③分詞とは形容詞の働きをする動詞の形 ⇒ 補語となる

Nyt he ovat **väsyneitä**.

今彼らは疲れてしまっている。

Ilotulitteet ovat **kiellettyjä**.

花火は禁止されている。

④形容詞は名詞として使われるので、分詞も名詞として機能する

Kaikki paikalle **tulleet** ovat tervetulleita.

その場へ来たすべての人は歓迎される。

Kaksi **ammuttua** loukkaantuivat vakavasti [...].

(<https://www.hs.fi/pkseutu/art-2000010384940.html>)

二人の撃たれた人間は重傷を負った [...]。

⑤分詞の特別な用法

Minun on **mentävä**.

私は行かなければならない。

Onko hän **tavattavissa**?

彼に会うことはできるか。

⑥現在分詞と過去分詞

	能動	受動
現在	laulava	laulettava
過去	laulanut	laulettu

virttä **laulava** tyttö 讃美歌を歌っている少女

olympialaisten avajaisissa **laulanut** tyttö

オリンピックの開会式で歌った少女

haudalla **laulettava** virsi 墓で歌われる讃美歌

Titanic-leffassa **laulettu** virsi

(<https://keskustelu.suomi24.fi/t/4276484/titanicissa-laulettu-virsi>)

タイタニックの映画の中で歌われた讃美歌

⑦動作主分詞（行為者分詞）と否定分詞

動作主（行為者）	laulama
否定	laulamaton

tytön **laulama** virsi

少女の歌う／歌った讃美歌

laulamani virsi

私の歌う／歌った讃美歌

laulamaton näyttelijä

歌わない／歌わなかった俳優

laulamaton virsi

歌われない／歌われなかった**讃美歌**

⑧分詞構文

Lääkäri sanoo **presidentin voivan hyvin.**

医師は、大統領は元気であると言っている。

= Lääkäri sanoo, **että presidentti voi hyvin.**

Suomessa sanotaan **olevan työvoimapula.**

フィンランドでは労働力が不足していると言われる。

= Sanotaan, **että Suomessa on työvoimapula.**